

(1) 概要

日 時	2020年2月15日(土) 19:00～21:00	
場 所	睦自治会集会所	
出席者	睦自治会：	*岩崎光雄(会長)、*柳澤知子(副会長)、*佐々木恵美(副会長)
	防災リーダー	松瀬義衛(代表幹事)、鈴木裕史、鈴木悠右、中野浩、露木輝彦 林英夫、森隆章、吉川順一、瀬戸新一郎 (アドバイザー)

*岩崎光雄/ *柳澤知子/ *佐々木恵美：防災リーダー兼任

(2) 議事

議 題	
1.	第24回「震災対策技術展」横浜 参加報告 (中野)
2.	「防災トーク」の現況 (鈴木(裕))
3.	世帯台帳 電子データ活用 (瀬戸)
決定/検討事項	
3.	世帯台帳 電子データ活用方法 電子データ化した世帯台帳の活用方法を検討して、その推進を図る
議 事 内 容	
1.	第24回「震災対策技術展」横浜 参加報告 (中野) 日時：2020年2月6日(木)～7日(金) 10:00～17:00 場所：パシフィコ横浜
	[参加セミナー]
①	「神奈川県地震・火山災害リスク」 (中野) ・1707年の宝永の大噴火以来、富士山の噴火記録は無いが、富士山・箱根火山が活火山だと認識して火山情報に注意する必要がある ・火山灰が1cmでも積もれば行動不能となる (降灰影響) 数mm：道路交通支障 10cm以上：溪流に積もった灰による土石流の可能性 30cm以上：木造家屋の倒壊のおそれ
②	「防災の日常化」—自主的防災を継続的に機能させるために必要な工夫— (鈴木(裕)) (1)主体的関与 (どの様に関わり防災意識を高めるか) (2)可視化 (3)日常化 (普段できないことは非常時に出来ない。 防災活動をどの様に日常生活に紛れ込めますか)
	 何でも良いので最低1つの自治会活動への参加を睦自治会住民に呼びかける(義務付ける)。自治会活動への参加を通じて連帯感、共助意識を高め、防災意識の高揚に繋げる
次回予定	2020年4月11日(土) 19:00～ 於睦自治会集会所

議 事 内 容

③ 「地域防災力の向上と防災士の活動について」

全国に18万名（2020年6月に20万名突破予定）

（活動理念）

- （1）地域防災力の向上に努め防災協働社会の実現に寄与
- （2）地域の防災活動に参画し、災害の事前対策、応急対策等地域の防災活動計画の策定・実施に指導的役割を果たす

地方自治体、企業、各種団体と連携して防災士の育成にあたっている。

神奈川県内で助成金制度のある自治体はない

防災士資格取得までの費用合計：61,901円

[展示出展分野]

- | | |
|-----------|-----------------|
| ① 災害対策支援 | ⑤ BCP（企業継続計画）関連 |
| ② 備蓄品 | ⑥ 救助・救出支援 |
| ③ 電力対策 | ⑦ 各種災害対策 |
| ④ 非常時通信対策 | |

2. 「防災トーク」の現況（鈴木(裕)）

（参照①）

（経緯）

NCCコンサルティングと不具合等に関して再度確認 2/6

→次の2項目の不具合修正の優先順位アップを再度確認

1. 一斉招集をスマホのプッシュ通知機能で通知しているが、分かりづらい
2. 「情報交換」「お知らせ」「助けて！」のスレッド、返信が削除出来ない

（新バージョン進捗状況）

- ・IOS(iPhone)：3月完成予定
- ・Android：4月以降完成予定

新機能

- ・全住民の情報共有（お知らせ）
- ・全住民の安否一斉確認
- ・要支援者、スマホ不保持者の安否確認代理入力

※「見守り」機能に関してNCCコンサルティングから追加機能の問い合わせがあったが、見守り活動を見極めた上で検討すべきとのことで今回は機能追加依頼は見合わせる

3. 世帯台帳 電子データ活用（瀬戸）

世帯台帳に記載されている情報を有効活用するために、主要データ項目を選出して電子データ化した。瀬戸さん、ご苦労さまでした。

キー項目の抽出により、様々な管理数値の把握が容易になるが、具体的な使用法は今後の課題である。